

運営委員会

構成メンバー: 当事者運営委員、委託相談法人運営委員、各部会長・委員長、ケアマネ連絡会
長野市障害福祉課担当者 高野晃弘、齊藤弘、立原博之、池田匠、小池広得、前島佑季子

1 年間テーマ

- ・ふくしネット運営の全体調整
- ・部会間の調整・協力
- ・ふくしネット事業の運営

2 部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
4	11	更北支所	34	・自立支援協議会について ・運営体制について ・前年度からの継続案件 ・関係団体の委員等推薦	・自立支援協議会の機能の確認 ・体制、地域課題確認 ・第2回全体協議会振返り ・今年度のスケジュール、進め方 ・教育支援委員会委員の推薦
5	9	更北支所	31	・運営について ・部会報告 ・県自立支援協議会報告 ・障害者週間特別企画 ・全体協議会	・運営体制・執行部体制・スケジュール確認 ・各部会の状況共有 ・今年度の障害者週間特別企画の取組、全体協議会開催時期の検討
6	6	ふれあい福祉センター	34	・部会報告 ・第1回全体協議会 ・障害者週間 ・部会運営の課題	・各部会の状況共有 ・第1回全体協議会テーマ・日程の検討 ・障害者週間(ふくしネットフェスタ)の内容検討、役割分担 ・運営の悩みを共有
7	11	吉田公民館	32	・部会報告 ・第1回全体協議会 ・ふくしネットフェスタ ・令和7年度予算	・各部会の状況共有 - 地域課題 B 群(一部)・C 群の状況報告 - 新たな地域課題の報告「緊急時の受入れ」 ・全体協議会のテーマ・日程・場所・内容の確定 ・ふくしネットフェスタの日程確認、各会場の実施内容検討

令和6年度 事業報告

8	8	ふれあい福祉センター	29	・部会報告、令和7年度予算 ・地域課題取組状況報告 ・第1回全体協議会 ・地域課題の取組み検討 ・障害支援区分認定審査会委員の推薦について	・各部会の状況共有、来年度実施したい企画(イベント・研修・印刷物等)の共有 ・地域課題 A 群ワーキンググループの進捗状況共有 ・第1回全体協議会の広報内容、役割分担 ・地域課題「緊急時の受入れ」について検討 ・障害支援区分認定審査会委員の推薦の考え方を確認
9	5	ふれあい福祉センター	30	・部会報告 ・第1回全体協議会 ・ふくしネットフェスタ ・地域課題の取組み確認	・各部会の状況共有 ・第1回全体協議会内容の検討 ・ふくしネットフェスタの広報の検討 ・「緊急時の受入れ」の検討方法の確認
10	10	ふれあい福祉センター	29	・部会報告 ・第1回全体協議会 ・ふくしネットフェスタ ・地域課題の取組み検討 ・相談支援従事者主任研修受講推薦	・各部会の状況共有、県自立支援協議会への課題確認 ・第1回全体協議会のスケジュール、役割分担の確認 ・ふくしネットフェスタ当日の動き、広報など ・新たな地域課題の報告「強度行動障害の方を地域で支える仕組みについて」
11	14	長野市役所	30	・部会報告 ・第1回全体協議会振返り ・ふくしネットフェスタ振返り ・課題検討について	・各部会の状況共有 ・第1回全体協議会及びふくしネットフェスタのアンケート確認、振返り、次年度に向けて確認 ・「強度行動障害の方を地域で支える仕組みについて」の取組み方の検討
12	12	長野市役所	32	・部会報告 ・部会等の運営 ・第2回全体協議会 ・課題検討	・各部会の状況共有 ・部会等の運営の困り感、位置づけ、今後に向けた検討 ・第2回全体協議会の日程、内容検討 ・「強度行動障害の方を地域で支える仕組みについて」の検討方法の確認
1	10	吉田公民館	30	・部会報告 ・部会等の運営 ・第2回全体協議会 ・課題検討 ・次年度に向けて	・各部会の状況共有 ・部会等の運営の困り感、位置づけ、今後に向けた検討 ・第2回全体協議会の内容検討・確認 ・課題への取組み方について

令和6年度 事業報告

					・各部会の次年度への動きの確認
2	13	吉田公民館	33	・部会報告 ・次年度ふくしネットの体制 ・第2回全体協議会 ・日中サービス支援型共同援助における協議会等への報告・評価	・各部会の状況共有 ・ふくしネットパンフレット・運営要領等見直し、運営への意識の共有 ・第2回全体協議会役割分担
3	13	ふれあい福祉センター	32	・部会報告 ・次年度ふくしネットの体制 ・第2回全体協議会 ・課題検討 ・関係団体の委員等推薦	・各部会の状況共有 ・次年度以降の委員会や相談体制を踏まえた体制の見直し、次年度スケジュール ・第2回全体協議会役割分担 ・以前出された課題の進捗確認 ・市社会福祉協議会評議員選任、県自立支援協議会圏域代表委員の選出、障害支援区分認定審査会委員の推薦

3 機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

・全体協議会、障害者週間関連企画(ふくしネットフェスタ)の実施

4 課題について

(1)主な検討課題

- ①令和3年度地域課題の検討 A群(別紙)、B群・C群(担当部会等で検討)
- ②緊急時の受入れ(宿泊)について
- ③強度行動障害の方を地域で支える仕組みについて

(2)検討の目的と結果(現状)

- ①令和3年度からの課題は、年数が経過してきたため、状況が変わっていないかを含め、課題検討の必要性を担当部会で確認した。
- ②緊急時の受入れについては、相談体制・地域生活支援拠点の再整備に合わせて、市で関係者の意見を聞きながら話し合っていく。
- ③長野圏域自立支援協議会連絡会で強度行動障害支援方策の研究及び情報共有のためのワーキンググループが再開するので、1年は検討の様子を見守り、必要があれば強度行動障害の方を地域で支える仕組みについてのワーキンググループの設置を検討する。

令和6年度 事業報告

(3)引き続き検討が必要とされる課題

A 群課題の内、医療的ケア児の移送問題、高齢化問題、災害時の支援体制については、来年度も引き続きワーキンググループで検討していく。

(4)部会の運営体制について

・今年度から部会長連絡会を無くし、当事者・委託相談法人・部会長・委員長・ケアマネ連絡会が集まって、ふくしネット運営を考える形にした。 構成人数が増えた。

・各部会の様子が分かるように、部会の状況を共有できる時間を設けた。

・タイムリーに部会等からの地域課題が出しやすいように、意識的に会議に時間を設けた。

・部会等の運営の困り感を共有し、ふくしネット全体の運営・部会等の運営を考える機会を設けた。
(6月、12～2月)

・障害者週間の啓発イベントの一環として行っている「ふくしネットフェスタ」の取組み方。
どんな人に啓発をしていきたいか、多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいか、課題。

5 総括(1年間を振り返って)

本年度は、運営委員会の構成メンバーを見直し、当事者、委託相談法人、部会長、ケアマネ連絡会が、一堂に会し、ふくしネット運営について課題の検討、情報共有ができる形になった。

検討課題について、運営委員会に参加しているそれぞれの立場での意見が出され、公明性が保たれた。ふくしネット全体の課題や運営の検討、また部会・委員会等の運営の困り感等を共有し、顔の見える関係づくりができた。その中で医療的ケア支援委員会から、部会運営を担える人がいないことや、課題がなかなか解決されていかない状況の困り感が出てきた。医療的ケア支援委員会執行部で取り組む課題の有無や取り組んでいる活動を確認し、次年度以降は取組を他の部会・委員会に引継ぎ、運営委員会でも柔軟に取り上げていく方向とし、医療的ケア支援委員会は一旦終結することを運営委員会の中で確認された。

ワーキンググループの活動では GH 休日支援ワーキング、医ケア児の移送問題ワーキングについては施策化の方向で進んでいる。

災害時の支援体制ワーキングは、事業所間の災害に関する共有や災害時に連携できる体制についての検討が求められる。

また、高齢化問題ワーキングでは、GH の高齢化とそれに伴う通院の増加、通院介助にかかる職員への過重が問題となり、くらし部会と協働で GH へのアンケートを実施した。その結果を受けて今後

令和6年度 事業報告

の検討となる。

来年度も引き続き、年2回の全体協議会、ふくしネットフェスタ、障害者週間のイベントや地域課題等について、年12回の運営委員会にて検討し、情報共有を経てふくしネット全体で協働できるよう、顔の見える関係で取り組んで参りたい。